

カーボンニュートラルへの取り組みについて

オークラ輸送機株式会社
 オークラサービス株式会社

オークラ輸送機とオークラサービスを中核企業とするオークラグループでは、お客様・取引先様と共に持続可能な地球環境の維持を実現するため、多面的に環境負荷低減を進めております。

その一環として、2022年度より燃料・エネルギー使用量やCO₂排出量（Scope1&2）を算定しております。2023年度の結果は、2022年度に引き続き、同業他社と比較しても総合的に使用量・排出量は抑えられているという結果でございました。当グループでは、今後もCO₂排出量の削減に向けた活動を継続し、加古川市域の脱炭素化に貢献して参ります。

オークラグループ主要拠点における燃料・エネルギー使用量
 およびCO₂排出量算定報告書（2023年度 Scope1,2）

燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量

2023年度の燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量の算定結果は、表1の通りです。

燃料・エネルギー	使用量		排出係数 ^{※1}		CO ₂ 排出量(t)
Scope1					計 583.48
ガソリン ^{※2}	141.48	kL	2.32	t-CO ₂ /kL	328.24
ジェット燃料油	0.00	kL	2.46	t-CO ₂ /kL	0.00
灯油	21.52	kL	2.49	t-CO ₂ /kL	53.59
軽油 ^{※3}	8.64	kL	2.58	t-CO ₂ /kL	22.31
A重油	0	kL	2.71	t-CO ₂ /kL	0.00
B・C重油	0	kL	3.00	t-CO ₂ /kL	0.00
液化石油ガス(LPG)	5.12	t	3.00	t-CO ₂ /t	15.36
液化天然ガス(LNG)	0.00	t	2.70	t-CO ₂ /t	0.00
都市ガス	73.53	10 ³ Nm ³	2.23	t-CO ₂ /10 ³ Nm ³	163.98
Scope2					計 1,825.80
電力	4,255,946	kWh	0.000429	t-CO ₂ /kWh	1,825.80
熱	0	GJ	0.057	t-CO ₂ /GJ	0.00
Scope1,2合計					2,409.28

表1 燃料・エネルギー使用量およびCO₂排出量

同業他社における CO₂ 排出原単位との比較

図1は、2023年度のオークラグループおよび業種に近い他社の CO₂ 排出原単位比較になります。

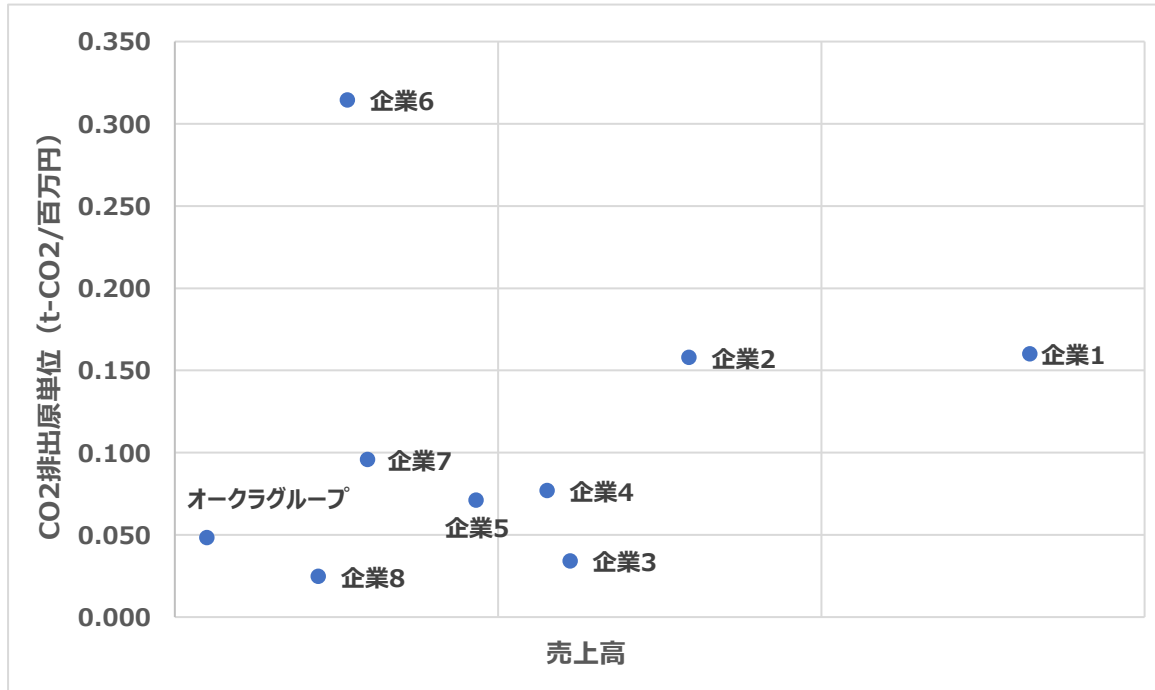


図1 CO₂ 排出原単位に基づく同業他社との比較 (Scope1,2) ※4

燃料・エネルギー使用量および CO₂ 排出量算定概要

- 対象組織： オークラ輸送機およびオークラサービスの主要拠点
- 対象期間： 2023年4月1日～2024年3月31日

※1 電力に関して、ロケーション基準の排出係数を採用。

※2 社用車（自社所有およびリースを含む）で消費されたガソリンを含む。

※3 社用車（自社所有およびリースを含む）で消費された軽油を含む。

※4 各社ホームページ等開示情報より弊社グループにて作成。